



ROTARIANS  
UNITED IN SERVICE  
DEDICATED TO PEACE

ロータリアン  
奉仕に結束  
平和に献身



会長 吉野 勲 幹事 板垣広志 クラブ奉仕 高橋良士 職業奉仕 飯野準治 社会奉仕 佐藤元伸 国際奉仕 阿蘇司朗 青少年奉仕 菅原辰吉

出席報告：会員 83 名 出席 54 名 出席率 79.41% 前回出席率 57.35% 修正出席 54 名 確定出席率 79.41%

ゲストスピーチ

芽を育む幼稚園教育

鶴岡幼稚園 澤田光枝様



“幼児期に狼に育てられた2人の子どもが、人間の手に10年近い教育を受けながらも、狼の習性を捨てきれず、人間らしくなれない例”からみて、幼児期というのは、環境から学びとる力が大であり、それがやがて

“生きていく力”となっていくことがわかる。

それゆえに、幼児に今、何をさせ、何を育てていかねばならないかをみきわめることが大事である。

幼稚園とは、

1. 学校であり、保育園とは別組織

○数 県内 120 (国公立 19 . 私立 101)

鶴岡 11 (市立 3 . 私立 8)

○年令・期間 3～5才 3～1年

2. 幼稚園の目的

「幼児を保育し、適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的とする」

すなわち、幼児がよく遊び、活動できる環境を整えて、幼児自ら育とうとする力を正しく伸ばすよう援助する。

子どもの育ちを、人格の発達の視点からとらえ、さまざまな生活体験を通して、全人的教育をする。

3. 幼児の特性

○自己中心性が強い

○感受性の強い時期

○甘えの時期

4. 最近の幼児の実態

○社会情勢や家庭環境の変化が子どもの生活に反映し、鶴岡でも全国同様の都市化現象がはつきりと表われている。

兄弟数の減少、物の氾濫、車社会、地域に遊び集団がない……等の現状の中では、子どもの世界に社会生活が成立しなくなっている。その結果、疲れやすく根気がない、遊びの不足、人とかかわり不足……など、心身のひ弱さが目立つ。

5. 幼稚園の生活

○子どものあるがままの姿の受容

○あそびや活動を通して、あそぶことのたのしき、人とかかわり、発見や工夫、ルールの大切さ、痛み、苦しみ、思いやり、知る(学ぶ)よろこびなどを体験させていく。

6. 幼稚園で育つもの、育てたいもの

○“人間として育つための基礎づくり”をする。

○知識をうえつけるのではなく、体験でしか育たない知恵、人間として生きる知恵を育てる。

○子どももっている好奇心、興味関心、学ぶ力、意欲、自主性、人とかかわり、豊かな感性を育て、生き生きとした幼児に育てたい。

立派な人間として生きていくために、“調和のと

庄内空港の建設を推進しましょう

れた豊かな人間に”。その芽を育てていくのが幼稚園教育であり、今、伸びようとするひとりひとりの

幼児に、すばらしい幼稚園生活をおくらせたいものである。

## 会長報告

吉野 勲 君

1. 本日例会終了後、当産業会館3階に於きまして第3回クラブ協議会を開催いたします。各委員長さんは必ずご出席して下さい。委員長さん欠席の場合、代理の方のご出席をお願いいたします。
2. 庄内分区代理よりの連絡ですが、63年2月7日(日)ホテル リッチ酒田に於きまして新会員研修会が開催されます。義務出席者は会長、幹事、情報委員長、2年以内の新会員となっております。該当する方のご出席をお願いいたします。尚、クラブに分担金として1万円の要請がされております。
3. 昭和63年1月17日、九里学園教育センターで行われます、1988年地区ロータリー情報セミナーの開催について、ガバナーより連絡が入っております。義務出席者は会長、会長エレクト、情報委員長、広報委員長、その他新会員となっております。
4. 今年も余すところ半月となりました。なにかとせわしい時期に入った感じです。

先程来会員の皆様にご協力を戴いております今年度の大きな事業の山形交響楽団の演奏会開催につきましては、先日、山響の細谷氏より全会員の所にお邪魔し、ご協力を願った訳でございますが、多くの会員よりご協賛を願ひ誠に有難うございました。お蔭をもちまして当初予定いたしました口数が増え、50枠になりました。皆様には1口1万5千円をお願い致した訳でございますが、今、申し上げました50ワクとなりますと、1万円のご負担で予算の上では賅われるようでございます。

甚だ出費多難の折で申し訳ございません。何卒宜敷くご協力の程をお願い申し上げます。当日18日には是非ご家族皆様お誘い合せの上、ご来場戴きますことをお願い申し上げます。

## 幹事報告

板垣 広志 君

### ○例会変更のお知らせ

酒田中央R.C 12月18日の例会を勉強会のため

日 時 12月16日 午後6時

場 所 ホテル リッチ酒田

八幡R.C クリスマス会のため

日 時 12月19日 午後6時

場 所 一條公民館

登録料 5,000円

温海R.C クリスマス会のため

日 時 12月21日 午後5時30分

場 所 温海グランドホテル

登録料 6,000円

鶴岡東R.C クリスマス会のため

日 時 12月23日 午後6時30分

場 所 グランド エル・サン

登録料 6,000円

12月30日の例会は年末のため、12時15分に変更。

○郡山南R.C 15周年記念誌到着

○R.I ニュース到着

○鶴岡に国際ソロブチミスト鶴岡の認証状伝達式の案内 会長出席

## 創立30周年記念行事について

市川 輝雄 君

こけしで有名な鳴子温泉から10km程秋田県側に入った所に鬼首という所があります。そこには日本でも有名な間歇泉があり、間をおいてすさまじい轟音と共に摂氏百度を越す熱湯が数十米も噴きあがるのを見ることが出来ます。鬱屈したものを一挙に開放するように噴出するさまは壮観であり、感動的でもあります。

明年度、当クラブは創立30周年という大きな節目を迎えます。仕方なくやる義務的な周年行事ではな

く、ロータリアンならずとも感動を感じる様な30周年記念行事にしたいと思えます。

かの鬼首の間歇泉の如く、10年間こらえていたクラブの底力を一挙に噴出して、人々をしてさすが伝統のクラブだ、やんぬるかな！と賞賛されるようなものにしたい。そして、ロータリーにかけた男のロマンと情熱を高らかに歌いあげてほしいと思うものです。

30周年記念行事の基本方針として、実行委員会としては次のように考えています。

- 参会者に深い感動を与える式典。
- ロータリアンとしての友情と喜びを満足させる祝宴。
- 機能的でしかも芸術的センスに溢れた記念誌。
- 市民に親しまれ、後世まで高く評価される記念事業。
- 鶴岡R.Cのアイデンティティを強く社会に主張する広報活動。

限られた予算の枠の中でどれだけの効果と演出が出来るかわかりませんが、皆様の叢智を結集して、すばらしい30周年にしたいと思えますので、よろしくご協力の程お願い致します。

### 実行委員長挨拶

三井 徹 君

30周年実行委員長を仰せつかり、誠に光栄に存じます。私自身高齢でもあり御役に立てるか疑問もありますが、皆様の御協力に依りまして意義深い大会に盛りあげていきたいと思えますので、宜敷くお願い致します。

### 山響コンサート開催の御礼

向山事務局次長

12月18日のクリスマスコンサートを主催戴き、又、会員各位に於かれましては多くの協賛と御援助を賜わり、誠にありがとうございます。

当楽団発足以来、鶴岡の皆様には大変御世話戴いているわけですが、今迄にこれといった交流も持たないまま現在に至っておりますが、これを機会に今

後共宜敷くお願い申し上げます。

### 米 山 奨 学 会

張 紹 淵 君

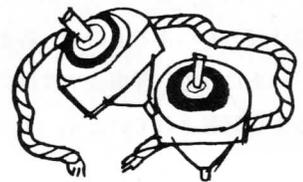
本日の米山奨学会の御協力金は9,655円です。どうもありがとうございます。

### ス マ イ ル

- 佐藤元伸君 山響コンサート開催に際し、会員皆様には多大な協賛戴く事が出来ましたので感謝致します。
- 田中錦造君 鶴岡局オリジナルのテレカ2枚（御殿まりといづめこ人形）を製作、販売致す事になりました。よろしくお願い致します。
- 日向一男君 山形県電力活用協議会主催の照明コンクールに於いて入賞しましたのでスマイル致します。
- 藤川享胤君 娘が世話になっている鶴岡幼稚園のゲストスピーチがありますので。
- 三井 徹君 創立30周年の実行委員長に推されましたので。
- 中野清吾君 日本商工会議所発行の月刊誌“石垣”に寄稿した“奥の細道について”文章が掲載されましたので。

### ビ ジ タ ー

- 鶴岡西R.C 桜井 晋君  
奥山一善君  
成田邦夫君  
石黒慶一君



## お く や み

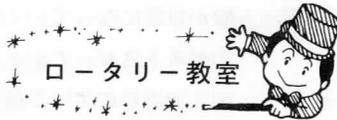


鶴岡旅館組合組合長  
飯白 祐 佑 氏  
昭和62年12月15日午後7  
時33分在內病院にて死去。  
享年 73才  
葬儀は20日午前11時から  
昭和町の長圓寺にて。

大正3年4月16日生れ

昭和34年11月24日、鶴岡 R.C 入会。

現在、十日町商店会会長、鶴岡市本町一丁目  
第3町内会会長、県旅館組合理事、日本観光旅  
館組合理事。前鶴岡地区食品衛生協会会長など  
多方面において活躍。観光、地域発展に尽力致  
しました。謹んでおくやみ申し上げます。



(第1433回例会会報より続く)

### 委員会の数

推奨クラブ細則の第7条に、R.Iが設置するよう  
すすめている委員会がしるされていますが、委員会  
の数と規模は、各クラブの構成、能力、目的によっ  
て、独自にきめられます。いずれのクラブも、その  
事情により委員会の数を自由に増減することができます。しかし、多くのクラブが、『クラブ会長必掲』  
にのっているロータリークラブ委員会組織案を採用  
しています。なぜなら、この案は、ロータリーの長  
年の現実的経験に基づいてつくられたものだからで  
す。これは、ロータリーのいろいろな活動の総合調  
整計画ともいえるもので、各委員会がその役割の実  
行にあたって、理事会や委員会の協力を、確保でき  
るよう配慮されています。また、各委員会の活動の

重複を最小限にとどめるよう企画されています。

委員会の活動は、奉仕の四大部門にそっておこな  
われます。奉仕の四大部門とは、クラブ奉仕、社会  
奉仕、職業奉仕、そして国際奉仕を指します。会長  
は、この四大奉仕部門をそれぞれ担当する理事を一  
人ずつ指名します。各奉仕部門を担当する理事は、  
その奉仕部門の委員会の活動を統括します。それら  
の委員会（小クラブでは委員が1人だけの場合もあ  
る）は、担当理事に対して責任をもち、各種活動、  
奉仕事業あるいは例会プログラムなどの手配をしま  
す。たとえば、国際奉仕部門担当の理事は、世界社  
会奉仕委員会、国際青少年交換委員会、ロータリー  
財団委員会、3-Hプログラム委員会などを監督し  
ます。

クラブ奉仕は、クラブの基盤となる奉仕部門です。  
ほとんどのクラブが、出席、職業分類、クラブ会報、  
親睦活動、雑誌、会員選考、会員増強、プログラム、  
広報、ロータリー情報など、委員会組織案にのって  
いる、すべての委員会を設ける必要をみとめていま  
す。ほかの3部門の社会奉仕、職業奉仕、国際奉仕  
の委員会組織は、通常、クラブの規模に応じてきめ  
られています。

これらの委員会は、奉仕活動の起動力となるもの  
であります。

